

## 第 100 回デジタル放送普及活動作業班会議 議事録（案）

- 1 日時 2023 年 7 月 20 日（木） 15 時 00 分～16 時 20 分
- 2 場所 一般社団法人電波産業会内第 3 会議室、及び Webex 会議
- 3 出席者

（構成員）

委員：

高田議長、齋藤副議長、（株）TBS テレビ 深澤委員、（株）テレビ朝日 井上委員、（株）東芝 大塚委員、青木委員、日本電気（株）橋本委員、長井委員、NHK 岡野委員（採用国対応 TF 主任）、神原様（次世代放送検討国対応 TF 主任）、JTEC 阪口委員、（株）テレビ東京 樽見委員、日本テレビ放送網（株）佐藤委員、（株）日立国際電気 宮下委員、（株）フジテレビジョン 大森委員、マスプロ電工（株）犬飼委員、八千代エンジニアリング（株） 南部委員、Dolby Japan（株） 勅使川原委員

情報共有者：

日本電気（株） 平岡様、八千代エンジニアリング（株） 峯松様、（株）ACCESS 西様

（オブザーバ）

放送技術課 西村技術企画官、谷田課長補佐、伊藤国際係長、荻原官

国際経済課 林専門職、仲田官

国際協力課 加藤課長補佐、小林課長補佐、土田専門職、鳥居専門職、太田官、笹木官

（事務局）

岡野、中村、佐久間、小島

4 ＜配付資料＞

資料 DF100-1 第 99 回デジタル放送普及活動作業班会議議事録（案）

資料 DF100-2 ブラジル TV 3.0 CfP 物理層試験進捗報告

資料 DF100-3-1 SET 2023\_日立国際電気\_パネルと展示機材

資料 DF100-3-2 ブラジル SET 2023 日本パビリオンへの出展について（JTEC）

資料 DF100-3-3 NHK ポスター（地上高度化メイン、サブ）

資料 DF100-3-4 DiBEG Panels for SET EXPO 2023

資料 DF100-4 ISDB-T 海外普及活動予定表

参考資料 DF100-1 デジタル放送普及活動作業班構成員名簿

## 5 議事要旨

開会に先立ち、今回会議から参加する総務省放送技術課の西村技術企画官、伊藤国際係長、国際協力課の小林課長補佐、鳥居専門職、それにテレビ朝日の井上委員にそれぞれ自己紹介いただいた。また会議途中で、仲田官より自己紹介いただいた。

- (1) 前回議事録案〔資料 DF100-1〕について事務局より出席者に確認し、特にコメントなく承認された。
- (2) ブラジル TV 3.0 関連現状報告として、次世代放送検討国対応 TF の神原主任より概要説明があり、続いて橋本委員より〔資料 DF100-2〕にもとづき現状と今後の見込みについて説明した。橋本委員からは、あわせて（次の議題の）SET EXPO 2023 での同社展示の概要についても説明いただいた。

高田議長より、この SET EXPO 対応展示に関し、現場でのアンケート内容を含めて意見やコメントがあれば、7 月 26 日（水）17:00 までに事務局に連絡するよう出席者に依頼した。
- (3) ブラジル SET EXPO 2023 対応準備について、始めに総務省の林専門職から Japan Pavilion 展示ブースの概要について説明いただき、続いて事務局の佐久間と高田議長より DiBEG としての展示対応について説明した。

続いて出展各社が予定する展示内容について、日立国際電気の宮下委員（〔資料 DF100-3-1〕）、JTEC の阪口委員（〔資料 DF100-3-2〕）、斎藤副議長（NHK、〔資料 DF100-3-3〕）からそれぞれ説明した。

続いて事務局の佐久間より事務局で予定している展示パネルについて紹介した（〔資料 DF100-3-4〕）が、ISDB-T 採用全 20 ヶ国を示す世界地図について、高田議長および阪口委員から指摘があり、以下の方針とすることを会合で確認した；

  - 1) ISDB-T 採用 20 ヶ国を「採用したのみ」と「ISDB-T 放送開始済み」の 2 種に色分けしているが、各国現状を正しく反映していないとして単一色（濃いピンク色）にまとめること、
  - 2) 「ATSC」の表現部分は「ATSC 1.0/3.0」に更新すること、
  - 3) 「ISDB-T adopted/ISDB-T service started」の表現を更新すること、

そして上記 3 点の更新を英語版、スペイン語版、及びポルトガル語版にこの機に反映させることについて高田議長より事務局に指示がなされた。（このうちポル語版は今回の SET EXPO 向けの展示パネルに反映させることとした。）
- (4) 今後のスケジュールについて谷田課長補佐より〔資料 DF100-4〕にもとづいて説明された。アルゼンチンの ASO について「本年 9 月」予定となっているが確認情報がないこと； モルディブの無償資金協力案件である地デジ放送網整備計画の完了予定が（前回資料の）本年 7 月から来年夏まで延期されたこと； アンゴラの地デジマスタープラン策定のための JICA 案件が本年 8 月末まで 2 か月延長され、技術協力プロジェクトが 2 年延長予定であること、が説明された。

また国際協力課の加藤課長補佐より、DiBEG が昨年度末までにまとめ上げたスリランカ地デジ放送向け技術規格の改定案について、7 月 12 日に水越駐スリランカ大使からマスメディア大臣に直接手交する式典が行われ、その模様は現地のテレビや新聞などのメディアでも報道されたこと； これにより、昨年の同国経済危機のため同国向け円借款案件は停止し

ているものの、日本政府としては円借案件が再開され次第、支援を再開する意思があることをスリランカ側に PR できたことについて説明をいただき、総務省及び現地日本大使館より DiBEG に対して感謝の意が示された。

これを受けて高田議長より岡野主任を始めとして本件に長らく関与されてきた採用国対応 TF メンバー各位に謝意が示された。

このスリランカの件について八千代エンジニアリングの南部委員より、「技術規格の改定案がスリランカ政府に提出されたことは現地の報道でも承知しているが、同国におけるこの地デジ技術規格の所掌機関は TRC（通信規制委員会）であり、今回の改定案はマスメディア省に手交されている。TRC が認知しないと実行力のある規格として、スリランカ国内で位置づけられないと思われるが、マスメディア省と手交した理由はあるのか」と質問があった。

加藤課長補佐より、改定案の提出先については在スリランカ日本大使館の判断でなされたものなので、この経緯については追って確認を取り、次回会合か、あるいは別の機会に紹介すると回答された。

\*その後、7 月 26 日、総務省殿から以下の情報を提供いただいたので、以下にご紹介します；

Quote；

以下、在スリランカ大からの回答。

ご質問の件はシンプルに“地デジの実施機関がマスメディア省になったことから同省に提出した”というものです。おっしゃるとおり技術規格については TRC が所掌することになりますが、本プロジェクトの実施機関であるマスメディア省と協議した結果、実施機関としての責任を有する同省が受領し、TRC を含めた関係方面と協議の上、迅速にスリランカとしての技術規格の承認を行うこととなっております。

Unquote.

- (5) 次回 DiBEG 会議の開催予定について事務局より、原則通り奇数月の第 3 木曜にあたる 2023 年 9 月 21 日（木）15:00 からと案内した。

また、この開催に合わせ、会議後に久方ぶりに DiBEG 関係者の意見交換会を ARIB 会議室で開催すべく計画していること；今後 9 月に向けたコロナ禍の状況にもよるが、別途案内するので、次回はできるだけ ARIB 事務所にお越しいただきたいと事務局より案内した。

以上